

# 科目 血液学 (Hematology)

担当教員 横田 浩充

## 【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

臨床検査技師国家試験の出題範囲をベースとして総合的な血液学の基礎を学び、国家試験に合格できるための知識を身につけることを目的とする。

＜教育目標＞

- (1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
- (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ

＜具体的な項目＞

- 専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)  
 関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)  
 根拠に基づいて科学的な推論を行い、結論を導く能力 (1)

## 【2】 授業計画

No.	内 容
1	血液の組成について
2	造血のしくみと崩壊
3	正常血球の分化・成熟Ⅰ 赤血球の産生過程、各分化段階の形態
4	赤血球の構造と機能、血液型
5	正常血球の分化・成熟Ⅱ 白血球の産生過程、各分化段階の形態
6	正常白血球の形態・機能(好中球・好酸球・好塩基球)
7	正常白血球の形態・機能(リンパ球・単球・マクロファージ)
8	リンパ球の種類と細胞表面抗原検査 (CD分類)
9	血球算定とその基準値
10	血球検査総論
11	血小板の産生過程・構造・形態
12	止血機構
13	血液凝固機序と凝固因子
14	線溶の機序
15	学習到達度の確認

## 【3】 到達目標

1. 血液の組成を理解し、説明できる。
2. 赤血球・白血球の分化、機能を理解し、説明できる。
3. 血小板の生成の過程および血液凝固の過程を理解し、説明できる。

## 【4】 授業概要

臨床検査技師国家試験の出題範囲をベースに、総論および各論の血液学の基本を学び、実際の臨床血液検査業務、臨地実習に対応できる知識を身につける。

## 【5】 準備学習(予習・復習)および必要時間

事前に講義資料を配布するので予習(2時間)および復習(1時間)としての課題を行うこと。合わせて「教科書」最新臨床検査学講座 血液検査学(医歯薬出版)を用いて次回の講義範囲を予習すること。

## 【6】 教科書・参考書・参考資料

- 「教科書」標準臨床検査学 血液学(医学書院)  
 「教科書」最新臨床検査学講座 血液検査学(医歯薬出版)  
 「参考書」病気が見える⑤血液  
 「参考書」人体の正常構造と機能 改訂第2版(日本医事新報社)  
 「参考書」臨床検査法提要(金原出版)

## 【7】 評価方法およびフィードバック

出欠状況および受講態度を参考とし、2回の中間試験(各30%)および定期試験(40%)により評価する。各試験については模範解答を示す。

## 【8】 オフィスアワー

授業後および月、火、木の15時以降1402Aで受け付ける。

**【9】 関連科目**

〔予め学んでおくとい科目〕

基礎細胞生物学（2016年度以降入学生用） 基礎生理学 基礎生物学（2012～2015年度入学生用）

〔この科目に続く内容の科目〕

臨床血液学 血液学実習：病院実習 臨床血液学実習

**【10】 その他**

配布する資料を後日の講義で参照することがあるのでファイルしてノートとともに授業に持参されたし。